

向陽祭に向けて

校長 佐久間 敦子

松戸向陽高校として3回目の文化祭が行われる。この先ずっとこの行事が続く為に、どうするかを考えている。目まぐるしく変わる社会、経済の動向の中で、これまでは学校がなくなるということは考えの外にあったことだ。しかし、千葉県でも多くの高校が統合という形で数を減らし、地域に密接に関わってきた歴史ある小学校さえもなくなっていく。こうした情勢の中で、「永く存続する学校」を私たちは目指さなければならない。

「文化祭」、「体育祭」といった学校行事も学校文化の重要な要素である。松戸向陽高校がこれからもこの地にたち続け、これらの行事が伝統として位置づくものになるように私たちは努力し続けなければならない。

「つなごう笑顔の輪」、今年度の向陽祭のテーマである。出し物や広告用ののぼり旗も少しずつ改良されていることと思う。来校される方々に「笑顔」を提供できるかどうかは生徒自身の努力にかかっている。「楽しんでもいただく」ために何が必要か考えること、行動することを期待している。

ご来校いただいた皆様へ

本日はご来校いただき心から感謝申し上げます。本校は統合3年目のまだ若い学校です。皆様のご支援により少しずつ成長して参ります。一步ずつ一步ずつ前進する。その為の努力を約束いたします。

ようこそ松戸向陽高校へ